

高カロテノイドで良食味、複合病虫害抵抗性のバレイショ新品种「ながさき黄金」

カロテノイドを高含有し、食味がよく、複数の病虫害に強く、加工適性がある暖地二期作向けバレイショ品種「ながさき黄金」を育成

研究開発の背景

- 健康志向の高まりから、消費者は体に良い成分(機能性成分)を含むおいしい食品を求めている。暖地二期作向け品種では、アントシアニンを含む赤肉のバレイショ「西海31号」が育成されているが、カロテノイドを高含有する品種はない。
- ジャガイモシストセンチュウ、ジャガイモYウイルスや暖地二期作栽培特有の青枯病の発生が問題となっている。

研究成果の内容

高カロテノイド・良食味・複合病虫害抵抗性バレイショ品種「ながさき黄金」



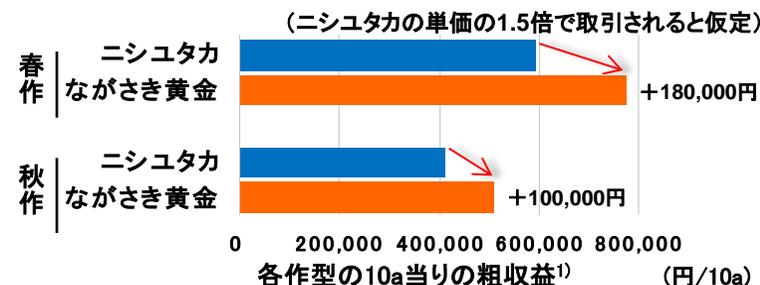
■上いも重は「ニシュタカ」に比べ劣るが、食味がよく、複合病虫害抵抗性

作型	品種名	平均1個重 (g)	上いも重		でん粉価 (%)	食味	病虫害抵抗性			
			(kg/a)	標準比 (%)			品種名	PCN	PVY	青枯病
春作マルチ	ながさき黄金	88	362	87	15.6	良	ながさき黄金	抵抗性	抵抗性	強
	インカのめざめ	56	201	48	16.0	良	インカのめざめ	感受性	感受性	強
	ニシュタカ	133	416	100	12.2	中～やや否	ニシュタカ	感受性	感受性	中
秋作普通	ながさき黄金	79	274	83	12.7	良～やや良	注)PCN:ジャガイモシストセンチュウ			
	ニシュタカ	119	330	100	9.4	やや否	PVY:ジャガイモYウイルス			

導入メリット

高品質生産と低コスト化・高付加価値化による農家所得向上

高付加価値化による収益が向上



農薬費の削減を可能



注1)長崎県農林業基準技術(平成26年)および左表の上いも重から算出。

期待される効果

- 良食味、機能性を活かした差別化、病虫害抵抗性を活かした減農薬栽培に活用できる。

開発機関:長崎県農林技術開発センター【予算区分:競争的資金】

導入をオススメする対象
暖地二期作栽培等が可能な地域